ハーモニー春日部相談室からのメッセージ

「ハーモニー春日部」の相談室には「娘」「嫁」「妻」「母親」らしさに縛られて自分の意見を言うことや、好きなことを我慢して苦しくなる女性も多く訪れます。また「男らしさ」「世帯主」「大黒柱」といった固定的役割分担意識から、息苦しさを感じる男性もお見えになります。「ジェンダー」とは生物学的な性別とは異なり社会的、文化的に作られた性別のことを言います。ジェンダーに基づく無意識の思い込みは自らを「らしさ」の形にはめ込み、身動きがとれなくなり、将来を考えることが難しくなる方もいます。相談室はそんな思い込みや生きづらさを一緒に解きほぐし「あなたらしさ」を一緒に考えて行きます。匿名でも大丈夫。あなたの話を聴かせてください。

ハーモニー春日部　相談のご案内

一人で悩まずご相談ください。専門の相談員がお話を伺います。　TEL.048-731-3333

相談内容▼	曜日▼	時間▼	
女性の総合相談（女性相談員による相談）	月・火・水・金曜日	10:00 ～ 15:00	電話または面接
女性のからだの悩み相談（女性保健師による相談）	木曜日	13:00 ～ 16:00	電話または面接
女性のカウンセリング相談（女性カウンセラーによる相談）	第１・２・３土曜日（1月は第2・3・4土曜日）	12:00 ～ 16:00	面接のみ
女性のための法律相談（女性弁護士による相談）	第４土曜日	13:00 ～ 16:00	面接のみ※
男性のための相談（男性産業カウンセラーによる相談）	第１日曜日	13:00 ～ 16:00	電話または面接

※ 市内在住 / 30分 / 年度内１回限り

編集後記

「レインボーの旗は？ LGBTQ とはなんだろう」今年は、この疑問について考えました。「自分のセクシャリティがわからない」「誰にも相談できない」「家族や友人が性的マイノリティかもしれない」ジェンダーバイアス（偏見）のない、だれもが個性豊かに生きられる社会、選択的夫婦別姓や同性婚、ジェンダー平等の時代です。講座を担当された岩井講師のレインボースニーカーはLGBTQ の明るい輝きがあります。編集委員会では今回のテーマを市民の方と共に考え、楽しく生活できるように誌面を作成しました。

（編集委員　角田範夫　中田利見）

春日部市男女共同参画推進センター
ハーモニー春日部

開館時間　8：30 ～ 21：30
（12/29 ～1/3 を除く）

春日部市緑町３丁目3-17
048-731-3333

mail: harmony.kasukabe@machikatsu.co.jp
hp: https://harmony.kasukabe-center.jp/

ハーモニー春日部の
ホームページは
こちらから

バス ▶ 春日部駅東口より朝日バス「豊野工業団地行き」で、約10分。バス停「ハーモニー春日部」で下車。

車 ▶ 無料駐車場がございます。講座開催日は混雑が予想されるため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

2026 年 1 月 1 日　発行

編集　男女共同参画情報誌「ハーモニー」編集委員

発行　指定管理者　街活性室株式会社

春日部市

本誌は再生紙を使用しています。

特　集

だれもが自分らしく暮らせるまちへ

vol.21 2026

春日部市
男女共同参画情報誌

ハーモニー

「ハーモニー春日部」は、春日部市男女共同参画推進センターの愛称です。女性と男性の調和（ハーモニー）やセンターとまちとの調和を願って名付けられました。また男女が社会の対等な構成員として和音を奏でるという意味も込められています。

2026 1/31　これからをさらに楽しみながら生きるためのコツを学ぶ

情報過多のＡＩ時代、セカンドライフをサバイブする

講師　杉本洋さん

2026 2/1　更年期のちょっとした 不調にアプローチ！女子会の雰囲気でおうち薬膳を学ぶ

おうち薬膳 女子会

講師　坂本めぐみさん

© 深谷かほる / 講談社

2026 3/7　国際女性デー 講座「夜廻り猫」の作者を迎えて

「猫」と一緒に考える誰もが生きやすい社会

講師　深谷かほるさん

2026 3/8　誰も取り残さない防災を地域と共に考える

みんなにやさしい 防災講座

講師　丹羽麻子さん　　協働　春日部市危機管理防災課

だれもが自分らしく暮らせるまちへ

春日部市では「だれもが自分らしく、安心して暮らせるまち」を目指し、「かすかべハーモニープラン(春日部市男女共同参画基本計画)」を通じて多様性を認め合う地域社会の実現に取り組んでいます。性別や年齢に関わらず互いに認め合い、支え合うことが、すべての人にとって暮らしやすい社会をつくる第一歩です。

すべての人にあてはまる性のあり方

私たちの社会には、さまざまな考え方や価値観を持つ人々がともに暮らしています。性のあり方もその一つです。近年、「LGBT」や「性的マイノリティ」といった言葉に接する機会が増えてきました。私たち一人ひとりの性のあり方が一律ではなく、多様であることを示しています。
※LGBT は性的マイノリティの総称のひとつです。

SOGI

性的指向 (Sexual Orientation) と性自認 (Gender Identity) の頭文字をとった言葉。だれにでも当てはまる性のあり方です。

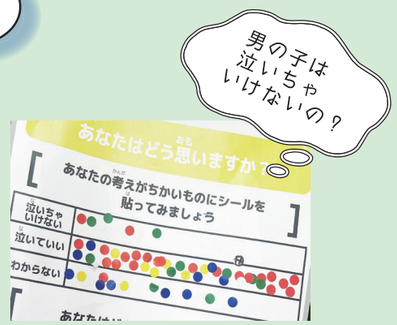
Sexual Orientation 性的指向 / Gender Identity 性自認

LGBT			
Lesbian	レズビアン	同性に惹かれる女性
Gay	ゲイ	同性に惹かれる男性
Bisexual	バイセクシャル	両性に惹かれる人
Transgender	トランスジェンダー	出生時に判断された性別と性自認が異なる人

(埼玉県 多様な性に関する基礎知識ガイド 参照)

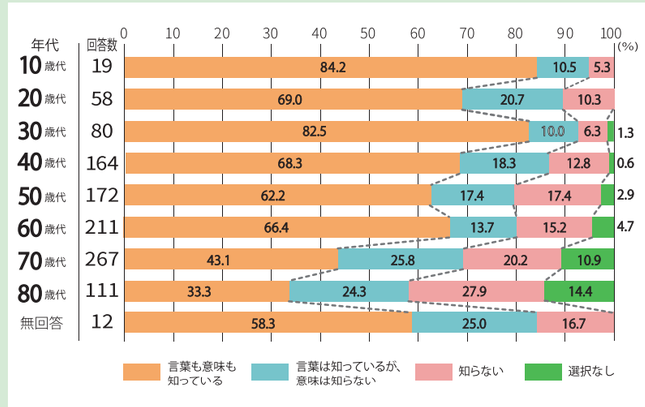
春日部市の多様な性に関する取組み

令和５年４月１日から、春日部市では「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」を導入しました。この制度は、お互いを人生のパートナーとし、継続的に共同生活を送っている２人(パートナーシップ関係)や、その一方または双方のこども(養子を含む)と共に生活している関係(ファミリーシップ関係)を市が尊重し、宣誓したことを証明するものです。



「ハーモニー春日部」では、性の多様性講座の開催にあわせて、参加型のパネル展を行いました。展示では、「女の子はメイクしなくちゃいけないの？」、「男の子は泣いちゃいけないの？」という問いかけに対して、多くの方が「そうは思わない」と回答しました。性別にとらわれない考え方や自分らしい表現を市民の方と共有する機会になりました。

LGBTについての春日部市民の認知度



このグラフは春日部市の年代別でLGBTの認知度を表しています。全体でみると、「言葉も意味も知っている」の割合は 58.3%となっています。2027年には全体の認知度の目標値を75.0%と設定しています。今後も幅広い年齢層に向けて周知し、多様な価値観を認め合うまちづくりを進めていきます。

(資料：かすかべハーモニープラン)

多様な性のあり方について学ぶ

性の多様性講座「わたしのまわりの多様な性～自分のジェンダーバイアスに気づこう」を 2025 年 9 月 28 日に開催しました。講師に、岩井紀穂さん(「スカイツリーラインLGBTQ FRIENDS」および「VISION！～for Transgender～」代表) をお迎えし、だれにでもある無意識のジェンダーバイアス」(性別による偏見や思い込み)が、日常の中でどのように現れ、他者や社会にどのような影響を与えているのかについて、トランスジェンダーとして生きるご自身の体験をもとにお話しいただきました。バイアスを完全になくすことは難しいものの、まずは偏見が「自分の中にもある」ことに気づき、日々の言動を見直すことが、だれにでもやさしい社会への第一歩であることを学びました。

講師の岩井紀穂(かずほ)さん▶異性愛者中心の社会との摩擦を抱えながら、2019 年より「パートナーシップ制度」導入を求め、埼玉県全域に向けた活動を行った。現在は、自らの経験に基づき、LGBTQ+(特にトランスジェンダー)と医療機関の課題解決の活動や「ALLYペアレントになろう」の活動を行っている。

講座後の座談会では、自分の言葉で語り合い、多様な性のあり方を「他人ごと」ではなく「自分ごと」として捉える意識を深める貴重な機会となりました。

当日、講師が着用していた**LGBTのシンボルカラーであるレインボー**のスニーカーも話題に。

講座参加者の感想

性の多様性の中には、自分自身も含まれていることを講座を通して改めて学ぶ、身近に感じる内容だった。安心して過ごせる社会をつくるために、自分ができることを考えたいと思う。

講義のお話も座談会も参加してよかった。自分のジェンダーバイアスに気づくことは怖い気持ちもあったが、それを解きほぐしてくれるような講座だった。